



「つぶやき」情報から土砂災害の予兆を把握

インターネット上に大量に存在するソーシャルメディア情報をリアルタイムに分析し、ユーザーの豪雨等に対する不安感や恐怖感を表した「つぶやき」が「いつ」「どこで」投稿されたかを推定し、その地域の土砂災害の切迫性の高まりを把握する手法を検討しています。分析により市町村まで位置推定を行えば、早い段階で土砂災害の前兆等に関する情報を収集できる可能性があることが分かってきました。これを警戒・避難システムに組み込むための研究を進めています。